

<森のクイズラリー> 問題&解説シート 2025 年度春版

A

Q. クイズラリーから戻るまでに見つけた生き物を、なるべくたくさん書いて
みましょう！昆虫や動物や植物どんな生き物でも OK！

【こたえ】あなたの書いた答えが正解！

春から夏に向かう中で清里の生き物たちは、冬眠から覚めるもの、成長を始めるもの、
卵や子どもを産むものなど、命の勢いを増していきます。長く寒い冬があるからこそ、
暖かい季節に精いっぱい命を繋いでいるのかも知れません。そんな生き物たちを
見ていると、なんだかこちらも元気をもらえるような気がしますね。

B

Q. この看板の左、木にはりついているツルは「ツタウルシ」という植物です。
ツタウルシにさわってしまったときの手当てとして、正しいものはどれでしょう？

① ふーふー息をかける

② ほかの葉っぱをこすりつける

③ お酢で流す

④ 水で流す

【こたえ】④ 水で流す

ツタウルシのツルや葉にさわってしまうと、その人の体質によってはかぶれてしまうことが
あります。これは時間を空けて症状が出る人が多いので、「さわってしまったかも」と
思ったらすぐに水道の水などで流しましょう(このとき、強くこすってしまわないように)。
もし、かゆみやかぶれがおさまらないようなら、病院で診てもらうことを勧めます。ちなみに、
③のお酢で流すのはクラゲにさされたときの手当てですね。

C

Q. 森の中に住んでいる「ヤマネ」。春から夏は子育ての時期です。
ヤマネは子育てのためにどこに巣を作りますか？

① 草の中に隠られる 草むら

② 高いところの方が安心 木の上

③ きっとここなら見つからない 地面の下

④ ぷかぷか浮かんでいい気持ち 川の上

【こたえ】② 木の上

春、冬眠から覚めたヤマネは繁殖の時期を迎えます。普段から木の上でくらすヤマネは、
巣を作るのも木の上。お母さんヤマネは、枝の先がホウキのように密集してしまう「テング
ス病」の枝の間に、木の皮やコケを編み込んで巣作りをします。その年に産む赤ちゃんの
数は3～5頭です。巣に近づくとお母さんヤマネが驚いて、子育てをやめてしまうことが
あるので、ヤマネの巣を見つけても近づかないでくださいね。

D

Q. この看板の奥に立っているのは、「モミ」の木です。この木にはいろいろな生き物につけられた「あと」があちこちに残っています。次の中から、2 つを見つけて○をつけましょう。※チャレンジしたい人は、3 つ全部見つけてみよう！

① 皮がはがれたあと

② 木に空いた穴

③ 樹液

【こたえ】2 つ以上見つかれば正解！

森に生えている木では、いろいろな出来事が「あと」として残っているものをよく見かけます。このモミの木でよく目立つ、皮がはがれたあとはシカの食べあと(食痕)です。シカは冬に食べ物が減ると木の皮を食べることがあるので、この食べあとは森のあちこちで見つかります。また、木に空いた穴はさまざまな虫の幼虫(カミキリムシ、タマムシなど)の食べあとで、成虫はもう木から抜けていることがほとんどです。そんな虫の食べあとなど、木が傷ついた場所から樹液が出ることもあります。モミの樹液はマツヤニのように油が多いので、べったりしていますがさわやかな香りがあります。その木の種類や生えている場所によっても、「なんの生き物が」「どんなあとをつけたか」は変わってくるので、森で気になる木に出会ったら、ぜひじっくりと観察してみましょう。

E

Q. 草原の方を振り返ってみましょう。木々の間から見える山は「ハケ岳」です。ハケ岳はいくつもの山が合わさってできていて、ここからは右の方に一番高い山(高さ 2899 メートル)が見えています。その山の名前は何でしょう？

① 北岳

② 横岳

③ 赤岳

④ 椎岳

【こたえ】③ 赤岳

ハケ岳で一番高い山は標高 2,899 メートルの赤岳です。その名前は山肌が赤茶色をしていることからきています。横岳も同じくハケ岳の一つで、ハケ岳には 20 以上も名前の付いた山があります。そして北岳はハケ岳ではなく南アルプスの山で、清里からは他の南アルプスの山と合わせて見るができます。ハケ岳、南アルプス、富士山など、どちらを向いても山が見えるというのは、高原の清里らしい景色ですね。

★ふれあいセンターには、清里から見える山の解説シートもありますよ！